会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

町庁舎PFI整備と制服リサイクルバンク

視察地　岩手県紫波郡紫波町／栃木県足利市
視察日　平成29年7月26日・27日
会　派　清風クラブ、公明党、民進党・無所属クラブ

人口3万3千人の町が熱い

紫波町は、町開発プロジェクトが評判です。それまで、雪置き場ぐらいしか利用価値のなかった町有地を活用し、そこに町役場・図書館・体育館等を集約的に建設し、今では賑わいのある町づくりに成功しています。

紫波町開発プロジェクトのノウハウを伺いに、年間1900人もの視察があります。このプロジェクトで特徴的なのは、官と民の共同開発であるということです。老朽化した役場庁舎は、※PFIで建替え、木造3階建てで2年が経過し、地元産の木材利用の国補助金を有効に活用しています。

制服リサイクルバンク

栃木県足利市の「足利市くらしの会」は、物を大切にする心を若者達に伝えたいと「制服リサイクルバンク」を開設し、まだまだ使える制服等を安価に提供する事業を行っており、多くの保護者等が利用し、喜ばれています。

※PFI
民間活力を導入した、公共施設の整備・運用

リサイクルされた制服の価格表です。ランドセルは平均価格50円!!

利府町の健康・福祉プランと気仙沼市の創造的復興

視察地　宮城県利府町・気仙沼市
視察日　平成29年8月7日・8日
会　派　新政伊奈、無所属の会

利府町は仙台近郊のベッドタウンです。福祉の先進エリアで、「はつらつ健康利府プラン」により、健康長寿に取り組んでいます。がん検診を町民に勧め、肺がん検診と前立腺がんの検診は、受診率90％以上です。バランスのとれた食生活やウォーキング、体操の普及に努めています。また、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を進めています。

利府町役場にて健康・福祉プランの説明を受ける

在宅のひとり暮らし高齢者に対し配食サービスを提供しています。「利府町はいかい高齢者SOSネットワークシステム」で、認知症への対策を取っています。

気仙沼市の産業施策は創造的復興を目指す取り組みを行っており、震災後の施策展開においては、都市機能や産業構造の再構築を図り、単に震災前に戻すだけではない、創造的復興を目指し取り組んでいます。主な取り組みとして、市土基盤・産業施設の整備、人材育成、新産業創出、地元産業の高度化等です。

今回の利府町、気仙沼市への視察で、我々は知見を広めることができました。

認知症徘徊対策とオープンガーデン

視察地　白岡市
視察日　平成29年8月22日
会　派　公明党

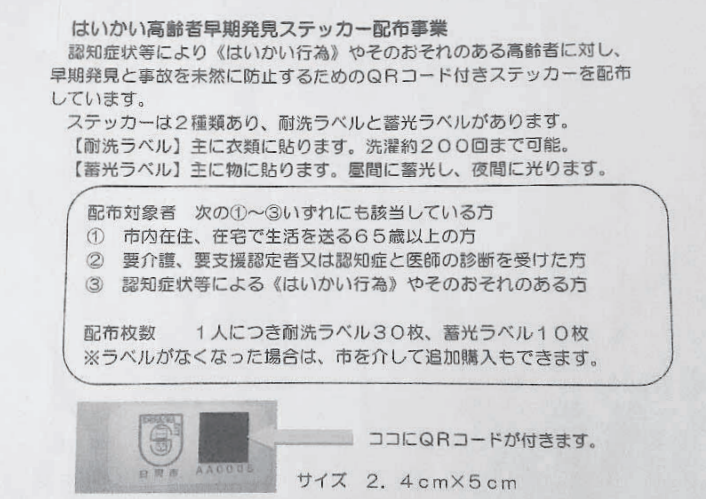
白岡市の高齢化率は26・01％。そのうち認知症高齢者数は862人。徘徊高齢者等家族支援サービス事業は手厚くなっています。例えば徘徊高齢者声かけ模擬訓練や認知症カフェの運営等々。

加えて今年4月、徘徊高齢者早期発見ステッカー事業が開始されました。市のマークとQRコード付きの耐洗シールや蓄光シールを対象者の身の周りの物につけ、行方不明時に身元照会、家族への引き渡しがスムーズにできるシステムです。導入のメリットは①24時間対応が可能②利用者の負担が少ない③導入・運用に係る費用負担が少ないところです。増加傾向となる認知症徘徊高齢者の問題解決に十分な効果を発揮します。

伊奈町の高齢化率は22・8％。介護側への寄り添いも含め取り組むべき事業であると感じました。

オープンガーデンについては、23の庭オーナーより期間限定で庭を公開。メリットは、景観の美化、人の輪の広がり、消費の活性化等です。

当町の資源を活かせる事業と感じました。



はいかい高齢者早期発見ステッカー配布事業

認知症状等により《はいかい行為》やそのおそれのある高齢者に対し、早期発見と事故を未然に防止するためのQRコード付きステッカーを配布しています。

ステッカーは２種類あり、耐洗ラベルと蓄光ラベルがあります。
【耐洗ラベル】主に衣類に貼ります。洗濯約２００回まで可能。
【蓄光ラベル】主に物に貼ります。昼間に蓄光し、夜間に光ります。

配布対象者　次の①～③いずれにも該当している方
① 市内在住、在宅で生活を送る６５歳以上の方
② 要介護、要支援認定者又は認知症と医師の診断を受けた方
③ 認知症状等による《はいかい行為》やそのおそれのある方

配布枚数　１人につき耐洗ラベル３０枚、蓄光ラベル１０枚
※ラベルがなくなった場合は、市を介して追加購入もできます。

ココにQRコードが付きます。
サイズ　2．4cm×5cm

市のマーク入　早期発見ステッカー

決算特別委員会

平成28年度の一般会計他全7会計の決算を審査するため、議長および監査委員を除く議員14名による決算特別委員会を設置し、10月30日・31日に審査します。

委員長　加藤利明

副委員長　戸張光枝

委員長あいさつ

このたび、決算特別委員会委員長を、努めさせていただくことになりました。

議会で議決された前年度予算が、適正かつ効果的に執行されたかを審査するきわめて重要な委員会となります。

審査結果は、次年度の予算編成や、行財政運営にも活かされてきます。

全委員で慎重に審査を行い、決算特別委員会を進めてまいります。